

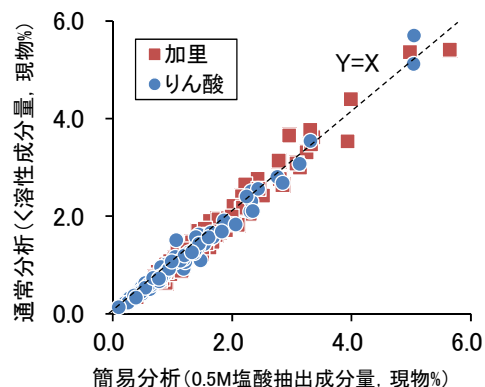
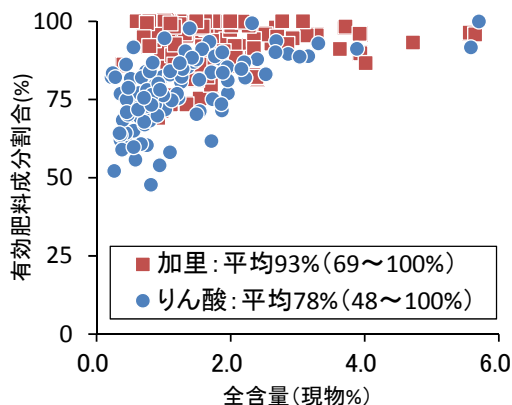
牛ふん堆肥で肥料を節約！！

研究課題名 牛ふん堆肥中肥料成分を活用する施肥量削減技術の開発 (平成24年～26年)

[研究のねらい]

・土づくりのために施用される牛ふん堆肥中の肥料成分のうち、**化学肥料と同様に効く有効肥料成分量を簡単に知る方法を開発し、冬どりキャベツ栽培で化学肥料削減の実証試験**を行いました。

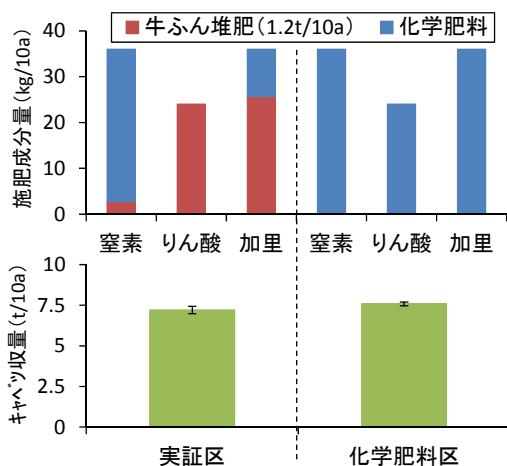
[研究の成果]



1. 牛ふん堆肥はりん酸、加里の**有効肥料成分(く溶性成分=2%くえん酸に溶ける成分)の割合は高いが、ばらつきが大きく、施肥設計のためには個々の評価が必要です。**
2. これまでの分析方法よりも、**簡単な方法で、有効肥料成分量が把握可能**であることがわかりました。

簡易分析法のメリット

- ・堆肥現物から抽出するので、簡便、迅速
- ・同じ抽出液で窒素、石灰等も測定可能
- ・安価な分析機器で測定可能



冬どりキャベツ栽培実証試験の様子

3. 牛ふん堆肥中の有効肥料成分量を簡易分析で評価し、**化学肥料を削減しても収量は同じ**です。化学肥料を減らすので、**肥料費も安くなります。**